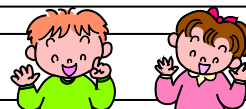




子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



## 大学入試が変われば何が変わる？変わった？

現行の大学センター試験は2019年度(2020年1月)の実施を最後に廃止され、2020年度から大学入学共通テストが始まります。今の高校1年生からこの共通テストを受験することになります。現行のセンター試験からの大きな変更点は、これまでのセンター試験になかった記述式問題の導入と、英語では4技能(読む・聞く・話す・書く)を評価することです。共通テストの目的は、「知識・技能」だけでなく、大学入学段階で求められる「思考力・判断力・表現力」を一層重視するという考えが基本となっているようです。

これを受けて、福岡県の公立高校入試は、平成28年度入試より「基礎的・基本的な知識・技能を問う問題と、思考力、判断力、表現力等を問う問題及び言語活動を重視した問題とをよりよく出題」するように改善が図られました。さらに平成30年度入試より「思考力、判断力、表現力等を問う問題及び言語活動を重視した問題をより一層充実」させると改善されました。主な変更点は、国語、数学、社会、理科の試験時間が45分から50分になった、英語は50分(リスニングテストを含む)から55分に延長された、筆記テストは今まで通り40分で行われるが、リスニングテストは10分から15分が増えた、などです。

さて、1月11日(金)に行われた、4、5年生の北九州市学力状況調査(4年生は国語と算数、5年生は国語ABと算数AB)も思考力、判断力、表現力を問う問題及び言語活動を重視した問題が多数出題されていました。このように大学入試が変わる、高校入試が変わる、新学習指導要領の実施という流れの中で、中学校、小学校の学力状況調査の出題内容も変わってきています。本校でも職員研修を行い、小学生時代において、これからの時代を生き抜く子ども達につけなければならない力、求められる力を学力状況調査の問題から読み解き、日頃の授業に生かしていきたいと考えています。

学力は学校だけでなく、ご家庭の協力がなくては向上させることはできません。ご家庭でも子どもが学習できる環境を作ること、支えること、見守ること、応援することなどを通して、学ぶ意欲を高め、学力向上を図ることが大切です。家庭学習の習慣化をお願いします。なお、「折東スタンダード家庭編」「家庭学習チャレンジハンドブック」を参考にされ、家庭学習に生かされてください。

### 【6年生 税金教室】

1月21日(月)、6年生を対象に税金教室を行いました。税理士さんから税金の意義や仕組みなどについて学びました。税金が社会の中で大切な役割を果たしていることを理解し、社会の在り方を考えるきっかけになりました。



### 【1年生 昔遊び】

1年生が生活科の学習で、昔遊びに取り組んでいます。ちなみに昔遊びとは、羽子板、こま回し、竹とんぼ、メンコ、あやとり、だるま落とし、紙風船、おはじきなどです。子ども達にとっては、日頃の遊びでは馴染みのないものばかりのようで、なかなか上手にできず苦戦しています。

しかし、それも楽しいようで、できるようになるために、何度も何度もチャレンジしています。

